

## 模範となる社員が持つ仕事に対する考え方①

## 模範社員がもつべき考え方とは

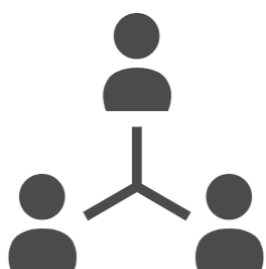
リーダーシップを発揮するための考え方（態度形成）



- ・ 率先垂範



- ・ 中長期的な目標



- ・ 組織視点

実務スキルが高いだけでは、社員のお手本にはなれない。それと同等か、それ以上に大切なのは、3つの考え方（態度形成）である。

## 率先垂範とは

先頭に立って模範をみせること

組織目標をよく理解し、1つ1つの業務も作業ではなく、当事者意識として捉え、意欲的に取り組む。それにより、業務効率が生まれたり、工夫や提案が生まれる。

### 「組織目標」を理解しているかどうか確認

- ・ 自分の会社の中期目標（3-5年）は何ですか？
- ・ その目標は、自社の理念やビジョンとどのように繋がるものですか？
- ・ 自分の部署の今期の目標は何ですか？

目先の業務、目先の目標に追われてしまうと、当事者意識をもつことができず、ときに会社やチームに対して不満を覚え、批判的な発言をしてしまう。自分に対して質問することで、組織がどこに向かっていて、そのために今何をすべきなのかを確認する。

## 中長期的な目標とは

個人としての業務上の目標や、個人の存在としての目標

- ・ **業務上**の目標

→3-5年後、どのような仕事や業務に就きたいか？

- ・ **個人の存在として**の目標

→仕事や業務という枠を超えて、自分はどんな人間になりたいか？

## 中長期的な目標を個人で持つメリット

- ・ 目先の仕事に**一喜一憂**することがなくなる



「今後、客先でしっかりとプレゼンできるようになるために今があるんだ！」

- ・ **モチベーション**の向上



目標がない  
=ゴールのわからない  
マラソン大会

→モチベーションの低下



日々の業務に追われてしまうと  
目標を考えることがなかなかで  
きない

目標を常に意識しながら業務を行うことが  
必要であり、そのために意図的に時間を  
確保することが大切である。

次回の学習テーマ：模範となる社員が持つ  
仕事に対する考え方②